

令和元年度 狭山市立南小学校学校関係者評価表

※ 学校自己評価や保護者アンケート等を踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 学校自己評価と保護者アンケートからA+Bを評価の目安として示す。

A：よくできている。(90%以上)

B：概ねできている。(85%以上)

C：あまりできていない。(70%以上)

D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。(保ア1)	A	・全教職員が校長の学校経営方針の遂行に努めている。 ・ほとんどの児童が、学校に楽しく登校している。(保ア7: A56.1%、B40.0%)	・学校として十分だと思う。 ・何事にも分かりやすい説明があり、安心感がある。 ・登校渋りの子供が不登校にならず、毎日来ていることは先生や親御さんの努力の結果でいいと思います。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。(保ア7)	A	・教師自らが学ぶ意欲と情熱があり、心豊かな教師を目指している(自1: A39.3%、B60.7%)	・掃除はどの子もよく掃除している。 ・全体的には指導が行き届いているが、教室によっては床にごみが見られ、落ち着けない子供が見られた。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。(自2)	A	・教育環境の施設設備は、(保ア5: A28.5%、B63.7%)である。今年度は南校舎のトイレを改修した。記述欄の記入に「北校舎トイレの改修要望」が3通あり、依然として水まわり関係の施設管理が課題である。	・トイレの「〇年〇組が掃除しています」の表記はとてもよい。 ・清掃は建物自体の古さも目立っている部分もある。 ・北トイレ修繕もなんとかしてあげたい。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。(自46)	B		
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。(保ア5)	A		
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。(保ア3)	A	・体験活動や児童の興味・関心を重視した学ぶ(わかる)喜びを味わわせる授業を行っている。(保ア3: A33.1%、B60.4%)しかし、各種学力調査は平均を下回った。学力の向上が課題である。	・授業はどのクラスも落ち着いて受けている。ただ話を聞くだけでなく発言することが多くなるように工夫されている。 ・図工はとても楽しそうだった。廊下の作品も力作が多く、充実した授業だったと見受けられた。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。(自35)	B	・学習の決まり(自35: A18.5%、B66.7%)だった。引き続き学びの土台作りを行う。	・学習は自分でするものという意識が薄い。 ・家庭との連携は地域としても協力ができると思う。
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。(保ア8)	B	・家庭学習の習慣が身につけている(保ア11: A+B62.6%)だった。家庭との連携が課題である。	
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。(自16)	C	・英語活動に児童が楽しく取り組んでいる。(自14: A52.9%、B47.1%)	
	10	児童は、英語活動をおとして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(自14)	A		
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。(保ア9)	C	・あいさつや場に応じた言葉遣いは、概ね昨年同様(保ア9: A+B79.7%)である。記述欄の記入にも「地域の方々へのあいさつができない」が5通いただき、課題である。登下校指導を通して継続的に指導を続けていく。	・校内での挨拶はとても気持ちよく行われていた。 ・相手を見て気持ちの良い挨拶ができると自分も相手もいい。 ・子供は挨拶はしている。見守りしていても声をかけてくる。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。(保ア9)			
	13	児童は、時間を守って生活している。(自3)	A	・静かな廊下歩行は(自32: A+B53.9%)である。依然として課題の一つである。廊下歩行の仕方を繰り返し指導をしていく。	
	14	児童は、きまりを守って生活している。(自36)	A	・怪我を伴う児童の重大な事故は2学期末の時点で0であった。今後も継続的に指導をしていく。	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。(自1)	A		
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。(自22)	A	・児童は、主体的に体力向上に努めている。外遊びや朝マラソンも多く児童が進んで取り組んでいる。引き続き努力を続ける。	・朝マラソンを学校で取り組んでいていい。 ・元気よく校庭で遊ぶ様子が見られ、とてもよかった。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。(保ア12)	A	・養護教諭を中心に定期的に保健室だよりを発行し、児童へ健康の呼びかけを行っている。	・体力は子供による。スポーツをやっている子供は体力もある。
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。(自20)	A		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。(保ア2)	A	・学校応援団の有効な活用ができた。(自48: A26.1%、B65.2%)	・学校地域の連携はできていると思う。 ・土日の活動にも積極的に参加して頂きありがたいです。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。(自48)	A	・ボランティアの高齢化により、新たな人材を確保することが課題である。	・地域の子供の放課後の過ごし方を共有させていただき助かっている。